

浜松ライオネット児童合唱団・豊中少年少女合唱団ジョイントコンサート

自主
事業

豊中少年少女合唱団

申込内容

■事業の概要

豊中少年少女合唱団（団員数約 35 名）と浜松ライオネット児童合唱団（団員数約 40 名）がジョイントコンサートを開催し、二つの市の有力な児童合唱団の歌声と文化交流の感動を伝える。

■目的

歌が好きなお子どもが集い、学年や学校を超えて協力しあい、合唱の素晴らしさを知ってもらえるような合唱団を創る。卒団後も、歌を忘れず、心豊かな人生を歩み、地域社会に貢献できるような人材を輩出していきたい。

■交付決定額 404,000 円
（事業予算 808,250 円）



◎活動の様子

8月24日（日）、アクア文化ホール（豊中市曽根東町）で豊中少年少女合唱団と浜松ライオネット児童合唱団の第2回ジョイントコンサートが開催されました。昨年、初めてのジョイントコンサート



を浜松で開催し、次はぜひ豊中でもと今回の運びとなりました。助成金により広報を強化するなどの工夫がされ、ホールは大勢の観客でいっぱいになりました。

本番前日に浜松の団がバスに乗ってやってきました。両団合わせて小学1年から高校3年まで約60人の団員がステージに並び、集中して指揮者の指導を受け練習を行います。前半の練習が終わると、両団の交流のためにOGの学生たちが遊びのプログラムを用意しており、長時間の練習の疲れを忘れてゲームを楽しみました。豊中の団では、合宿などの活動の中でもゲームなどの交流の時間があり、年上のメンバーが年下の面倒を見ています。今回のようなジョイントにより、合唱の技術面でも刺激し合えるが、団のまとめ方や雰囲気作りなども見習うところがあると、浜松の団の指導者から聞くことができました。コンクールなどで他の団と会う機会はあるが交流する時間ではなく、貴重な機会だそうです。



豊中の団員は、「一人では出せない、みんなと一緒に歌うことでの良さがある」「学校の部活とは違い、コンクールの入賞をめざす練習ではないから楽しい」と合唱の魅力、この団の魅力を話します。また、「いろいろな部活やサークルがあり、最近は合唱をする人が減っているが、合唱は特に協調性が養われる。社会で必要なものであり、これから役に立つと思う」と豊中の団の指揮者西岡茂樹さんは話しました。

活動方針に近隣の合唱団との共演を積極的に行うことも掲げており、更なる拡がり期待されます。

◎リンク

▼[豊中少年少女合唱団ホームページ](#)